

平成28年度 事業計画

1. WAC事業（公益目的事業・その他事業1・その他事業2）

*WAC（ウェルビーイングコミュニティ）事業：

平成元年に厚生省（現厚生労働省）が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

○公益目的事業：WAC法に基づく施設（疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム）の設置および運営

○その他事業1：疾病予防運動センターのうち60歳未満の利用者（全利用者の3割相当）に該当する部分

○その他事業2：老人保健施設・訪問看護ステーション・ケアプランセンター（奈良事業のみ）

(1) 奈良事業

（厚生労働省WAC認定事業：H2.10.17付）

① 疾病予防運動センター（WAC第1号施設）

【ニッセイ・アーク西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・ホームページの有効活用、地域情報誌への広告掲載、直営施設の西大和店とのタイアップ運営、プール会員募集キャンペーンの前倒し実施などの広宣活動を実践し、地域会員増を目指します。
- ・会員へのトレーニングフォローおよび運動・健康相談の実施や個別プログラムの充実を図ることで退会者の軽減や売上高の増加を目指します。

② 診療所（WAC第1号施設付置診療所）

【ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・河合町保健事業への協力や地域住民の受託検査、特定健診、予防接種の実施、献血活動の協力などを推進し、人間ドック等の健診の予約拡大や内科・整形外科及び物理療法患者数の増加など地域の医療機関としての役割発揮の向上に努めます。
- ・「奈良ニッセイエデンの園」内における有料老人ホームの協力医療機関として終末期医療における看取りサポートを強化するとともに、在宅事業・老健事業とも連携し、医療面でのサポート体制を充実させます。

③ 高齢者総合福祉センター（WAC第2号施設）

【ふれあいプラザ】

○地域社会との連携・交流

- ・生きがい・仲間作り、社会学習への参加促進を目指して、ワークショップ型の多世代交流型の講座を開催し、県内の大学など地域とのネットワークづくりを意識して活動します。
- ・河合町立文化会館まほろばホールとの連携を強化し、「地域のゆしみ」の発信基地として活動します。

④ 在宅介護サービスセンター [訪問介護、福祉用具貸与・販売事業、居宅介護支援事業]

（WAC第3号施設）【ニッセイせいれい在宅介護サービスセンターヘル西大和店】

○地域社会との連携・交流

- ・登録ヘルパーの増加と同時に、喀痰吸引やターミナルケアニーズの中重度利用者へも対応できる体制の充実を図り、地域包括ケアシステムに寄与することを目指します。
- ・訪問看護等他の在宅事業との連携が取りやすい特長・強み、地域包括支援センター・居宅支援事業者との連携、また福祉用具事業の拡大を図り、引き続き更なるサービス提供体制の充実に努めます。

⑤ 訪問看護ステーション [訪問看護事業]（WAC第3号関連施設）【訪問看護ステーション西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・近隣医療機関や複合施設としての連携を図るとともに体制を強化し、訪問エリアの拡大を行い、利用者数の増加を目指します。また、重度の利用者の受け入れ対応ができるように、質の高いケアの提供をします。

⑥ ケアプランセンター [居宅介護支援事業]（WAC第3号関連施設）【ニッセイせいれいケアプランセンター西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・複合施設の強みを活かして事業所全体で利用者や家族を最期まで支え、地域包括ケアシステムの一翼を担うプライドを持ち、よりよいサービスを提供します。
- ・当センターが中心となり、河合町や管内各事業所との地域防災の取組みを継続します。

⑦ 有料老人ホーム [特定施設入居者生活介護事業]（WAC第4号施設）【奈良ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・「地域連携グループ」を中心にした活動を通じ、地域住民との交流を深めるとともに、近隣市町村の介護・予防事業へ積極的に参画し、地域貢献を推進します。
 - ・地域防災拠点の体制づくりを目指し、災害対策の整備を推進します。
 - ・地域における「介護サービス」の拠点および「学び」の拠点となるための活動を推進します。
- 入居者一人ひとりのその人らしい生活を支えるトータルケアサービスを実践し、職員一人ひとりがエデンプライドをもって、より高いエデン品質を構築します。
- 『健幸生活』を過ごす仕組みを定着させ、介護予防を推進します。
- 食事サービスの充実を図り、大食堂での喫食数の向上に努めます。
- 入居者募集においては、全職員が一体となって「奈良ニッセイエデンの園」のファン増加に努めるとともに、今後も入居者募集機能を強化することで高い入居率の維持に努めます。
- 感染対策の徹底とコンプライアンスを意識した運営を図ります。

⑧老人保健施設 [介護老人保健施設、短期入所療養介護、通所リハビリテーション]
(WAC付帯施設)【奈良ベテルホーム】

○地域社会との連携・交流

- ・複合施設の特長を生かして他の在宅事業との連携を強化し、また平成 27 年度から実施の施設整備を P R し、在宅復帰後のことも踏まえた安心・安全な生活を目指し、利用者の満足度向上を実践します。
- ・高齢者福祉の理解を広げる為の交流会の実施や地域ボランティア活動を支援することにより、高齢者のアクティブライフの向上に努めます。
- ・河合町等地域との連携を強化し、地域住民向けの介護講座等の地域支援事業に積極的に参画します。

○複合施設の強みを活かした渉外活動を継続し、利用者を積極的に受け入れ、安定経営に努めます。

○利用者一人ひとりの生活を支えるためのトータルケアサービスを実践し、リハビリやケアサービスの質・安全・効率の向上を図ります。

(2) 松戸事業 (厚生労働省WAC認定事業：H6.12.15付)

①疾病予防運動センター (WAC第1号施設) 【ニッセイセントラルフィットネスクラブ 松戸】

○地域社会との連携・交流

- ・地域での認知度アップに向けた活動を継続し、松戸市の総合事業の動向を踏まえ「介護教室」の開始やキッズダンスに加えて「ジュニアダンス」クラス増設を行い、地域会員数の拡大を図ります。
- ・「ニッセイ松戸アカデミー」と連携し、参加型イベントの充実を図ります。

②診療所 (WAC第1号施設付帯診療所) 【松戸ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・各職種における専門性を活かしたサービス、また最新医療機器の整備により検査精度の向上と迅速な確定診断を行うことで入居者、利用者へ安心と信頼を提供します。
- 専門看護師および認定看護師を中心に「入居者の満足に繋がる医療・看護のサービス提供(看取りまで)」を目指し、医師、看護師と医療および介護スタッフとの連携強化に努めます。

③高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設) 【ニッセイ松戸アカデミー】

○地域社会との連携・交流

- ・今後進んでいく入居者の新旧交代に対応し、かつ地域住民と入居者の交流の場としての教室の拡大を図ります。
- ・実施内容がコンサートに偏っているため、過去の実績から参加者が見込まれる落語会や入居者の趣味・関心の高い内容に関する講演を開催します。
- ・園の紹介記事を増やした地域向け広報紙を継続発行し、情報発信機能の充実に努めます。

④在宅介護サービスセンター [訪問介護事業] (WAC第3号施設) 【ニッセイデンヘルパーステーション】

○地域社会との連携・交流

- ・日常生活支援総合事業における動向についての的確に情報収集をするとともに、今後の事業の在り方について方向性を検討していきます。
- ・国の施策において地域住民運営のサービスが活発化していく中、地域に根差す事業所の在り方として地域貢献についても検討を行います。

⑤有料老人ホーム [特定施設入居者生活介護事業] (WAC第4号施設)【松戸ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・地域を対象とした介護予防活動の提供や広報活動の充実と園行事の地域への発信等、広く啓発推進します。
- ・松戸市指定の災害時の一時避難所として、近隣の施設との連携を深めます。

○認知症の早期発見・早期診断・早期対応のシステムを向上させるとともに、医療・介護サービスが有機的に連携し、認知症の容態に応じて切れ目なく提供できる循環型のシステムを構築します。

○平成 29 年春に迎える開園 20 周年に向け、松戸ニッセイエデンの園に関わるすべての人々が共有し遂行する目標として定めた「松戸ビジョン」の具現化を図り、すべての入居者にとって「我が家」となる施設の実現を目指します。

○個人情報の取扱い等コンプライアンスの徹底と施設内の感染症予防・集団感染防止等のリスク管理の強化に引き続き取り組みます。

○入居者の協働・参画を得ながら、園全体で環境・省エネ活動を推進します。

2. 調査研究事業(公益目的事業)

(1) 地元行政機関等と連携した地域住民への高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関する情報提供

- 奈良施設・松戸施設の立地する奈良県・河合町や松戸市等と連携し、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーの開催を通じ、地域住民への情報提供の取組みを継続します。
- ・河合町等との共催による健康に関する情報提供等のイベントの開催
- ・松戸市立福祉医療センターと連携した健康に関するイベントの開催

(2) WAC事業の展開の中で、4分野に関するノウハウ・スキルの研究と成果の関係諸機関への情報提供

- WAC事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施します。
 - ・「地域の多様性を活かした高齢社会におけるまちづくりの方策の検討」をテーマに継続的な調査研究として、地域の開業医・自治会・町会・NPOとともに、高齢化率の高い地域における住民の見守り体制づくりのプロセス検証、見守り体制の核となり地域の高齢者の生活を支える「サロン」のモデル化と運営手法のマニュアル化、及び地域包括ケアシステム構築の動きへの先行調査に重点を置いた実践的研究に取り組みます。
 - 奈良施設・松戸施設の各職場内で4分野を題材にした調査研究並びに発表会(福祉学会)を開催し、その研究成果について介護・福祉関係機関や専門学校等への情報提供に努めます。
- < 社会福祉法人聖隷福祉事業団との共同研究 >

(3) 地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

- 奈良施設・松戸施設内において、11月の「介護の日」にイベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続します。
- 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、高齢期の住まいをテーマにしたイベントを開催します。

3. 奨学金助成事業(公益目的事業)

- 介護福祉士・理学療法士・作業療法士という介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士等を目指す学生に奨学金を支給します。